

---

# Sphinx-Test

Lomega

2024 年 02 月 02 日



# Contents:

<b>1</b>	<b>h1 相当の見出し</b>	<b>3</b>
1.1	h2 相当の見出し . . . . .	3
<b>2</b>	<b>Chapter 2</b>	<b>5</b>
2.1	Chapter 2-1 . . . . .	5
2.2	Chapter 2-2 . . . . .	6
<b>3</b>	<b>はじめに</b>	<b>7</b>
3.1	ごあいさつ . . . . .	7
3.2	使用バージョン . . . . .	7
3.3	免責事項 . . . . .	7
<b>4</b>	<b>文字の表現</b>	<b>9</b>
4.1	鬼斬りを表示 . . . . .	11
<b>5</b>	<b>Indices and tables</b>	<b>15</b>



これは chpa1.rst の内容です。



# Chapter 1

## h1 相当の見出し

うおうお

### 1.1 h2 相当の見出し

ぐえ

#### 1.1.1 h3 相当の見出し

ぐおん

#### h4 相当の見出しの文字列

うがー。

#### h5 相当の見出し

むーん。

#### h6 相当の見出し

こまった。





## Chapter 2

## Chapter 2

これは chpa2.rst の内容です。

### 2.1 Chapter 2-1

これは chpa2-1.rst の内容です。ぐえ

#### 2.1.1 Sphinx とは

Sphinx はブラウザで表示するドキュメント（オンラインマニュアル等）を作成するツールです。具体的には reStructuredText を使用してマークダウン記法で書いたファイルを HTML 形式や PDF 形式などのファイルに変換するツールです。元々は Python のドキュメント用に作成されたものですが、現在は多くのドキュメントを作成するのに使用されています。名称は Sphinx ですが、「ホルスの目」のアイコンが使用されています。

```
include("trgutils.jl")

module Potts

function weight( $\beta$ ; q)
    Main.Diagonal([exp( $\beta$ ) - 1 for _ in 1:q]) + ones(q, q)
end

function bulk( $\beta$ ; q)
    Main.bulk(weight( $\beta$ ; q))
end

function horizontalboundary( $\beta$ ; q)
    Main.horizontalboundary(weight( $\beta$ ; q))
end

function criticaltemperature(;q)
    1 / log(1 +  $\sqrt{q}$ )
end

end
```

## 2.2 Chapter 2-2

これは chpa2-2.rst の内容です。

### 2.2.1 Miniconda

#### インストール

Miniconda のインストール手順を説明します。

#### 設定

Miniconda の設定手順を説明します。

# Chapter 3

## はじめに

### 3.1 ごあいさつ

Sphinx を使用し始めてからすこし時間が経過したので、その振り返りとして本書を作成しました。本書は Windows 環境上に「Sphinx を導入 → ドキュメントを作成 → GitHub Pages」で公開するまでの手順を説明します。これから Sphinx を使用したいと考えている方のお力に少しでもなれば幸いです。

### 3.2 使用バージョン

動作検証などで使用したバージョンは Sphinx 4.4 です。Sphinx は適宜アップデートして動作検証するため、本書の最初と最後でバージョンが異なる可能性があります。

### 3.3 免責事項

本書の掲載内容はできる限り正確に保つように努めていますが、掲載内容の正確性・完全性・信頼性・最新性を保証するものではありません。本書に起因して読者および第三者に損害が発生したとしても、筆者は責任を負わないものとします。



## Chapter 4

# 文字の表現

1 行目の文章です。2 行目の文章です。

丸竹夷二 押御池 姉三六角 蛸錦 四綾仏高 松万五条 雪駄ちゃらちゃら 魚の棚 六条 三哲 通りすぎ 七 越えれば 八九条 条東寺で とどめさす

斜体

- ロロノア・ゾロ

コードサンプル

フィールドリスト 1

説明文その 1

フィールドリスト 2

説明文その 2

フィールドリスト 3

説明文その 3

このように先頭に "|" を書くと  
ラインブロックになり、  
改行を含めて、書いたとおりに表示します。

ここは通常の文章です。次の行はリテラルコードブロックです。

ここからリテラルコードブロックです。  
リテラルコードブロック部分の改行は、  
ソースコードの内容がそのまま反映されます。  
入力した文字はそのまま表示されます。箇条書きをしようとしても

- あああ
- いいい

のように、書いたとおりに表示します。  
ここでリテラルコードブロックは終了です。

ここから通常の文章です。

- リストの 1 つ目です。
- リストは先頭に "・" がつきます。
- リストでも改行は Sphinx 任せです。

1. 富士
2. 鷹
3. なすび

- 親リストの 1 つめ
  - 子リストの 1 つめ
  - 子リストの 2 つめ
  - 子リストの 3 つめ

- 親リストの 2 つめ

1. 番号付き親リストの 1 つめ

1. 番号付き子リストの 1 つめ
2. 番号付き子リストの 2 つめ
3. 番号付き子リストの 3 つめ

2. 番号付き親リストの 2 つめ

- a. 番号の代わりに英小文字を使用したリストの 1 つ目です。
  - b. リストの番号は a. b. c. . . . になります。
  - c. 改行はやっぱり Sphinx 任せです。
- A. 番号の代わりに英大文字を使用したリストの 1 つ目です。
  - B. リストの番号は A. B. C. . . . になります。
  - C. 改行はやっぱり Sphinx 任せです。

○○○を入力後 OK をクリックします。

- *list* ボタン : 登録されている内容を一覧表示します。
- *search* ボタン : 入力した文字列をキーワードにしてドキュメント内を検索します。

### ls コマンド

スタックは LIFO (last-in, first-out) 構造です。

nginx のメインの設定ファイルは `/etc/nginx/nginx.conf` です。

サンプルのテキストファイルをダウンロードするには [ここをクリック](#) します。

新しくテキストファイルを作成するには" **ファイル (F)** → **新規作成 (N)** "の順に操作します。

処理を中断するときは **Esc** を押します。

二次方程式の一般形は 「 $ax^2 + bx + c = 0$ 」 です。

Gauss 積分は 「 $\int_{-\infty}^{\infty} dx e^{-ax^2} = \sqrt{\frac{\pi}{a}}$ 」 です。

## 4.1 鬼斬りを表示



Sphinx の日本ユーザー会のサイトは <https://sphinx-users.jp/index.html> です。

Sphinx の日本ユーザー会のサイトは [ここをクリック](#) します。

このサイトについて [はじめに](#)

A	B	A and B
False	うお e	False
True	Fals	Flase
False	True	False
True	True	True

A	B	A and B
False	うお e	False
True	False	False
False	True	False
True	True	True

A	B	A and B
False	False	False
True	False	False
False	True	False
True	True	True

表 1: 各年代の伝説的アニメ

2011 年	2012 年	2015 年
まどマギ	中二恋	Charlotte

	A	B	Result
and	False	False	False
	True	False	
	False	True	
	True	True	True
or	False	False	False
	True	False	True
	False	True	
	True	True	

A	B	A and B
False	False	False
True	False	False
False	True	False
True	True	True

A	B	A and B
False	False	False
True	False	Flase
False	True	False
True	True	True

```
public class HelloWorld{
    public static void main(String[] args){
        System.out.println("hello, world");
    }
}
```

```
1 public class HelloWorld{
2     public static void main(String[] args){
3         System.out.println("hello, world");
4     }
5 }
```

```
include("trgutils.jl")

module Potts

function weight( $\beta$ ; q)
    Main.Diagonal([exp( $\beta$ ) - 1 for _ in 1:q]) + ones(q, q)
end
```

(次のページに続く)



(前のページからの続き)

```

function bulk( $\beta$ ; q)
    Main.bulk(weight( $\beta$ ; q))
end

function horizontalboundary( $\beta$ ; q)
    Main.horizontalboundary(weight( $\beta$ ; q))
end

function criticaltemperature(;q)
    1 / log(1 +  $\sqrt{q}$ )
end

end

```

"c:\windows" ディレクトリーです。

なんだ、かんだ

あーだ、こーだ

**注意:** 如月アテンション

attention の中に t は 3 回登場します。

$$\int d^3x$$

$$\int_{-\infty}^{\infty} dx e^{-ax^2} = \sqrt{\frac{\pi}{a}} \quad (4.1)$$

式 4.1 が Gauss 積分。



## Chapter 5

# Indices and tables

- [genindex](#)
- [modindex](#)
- [search](#)